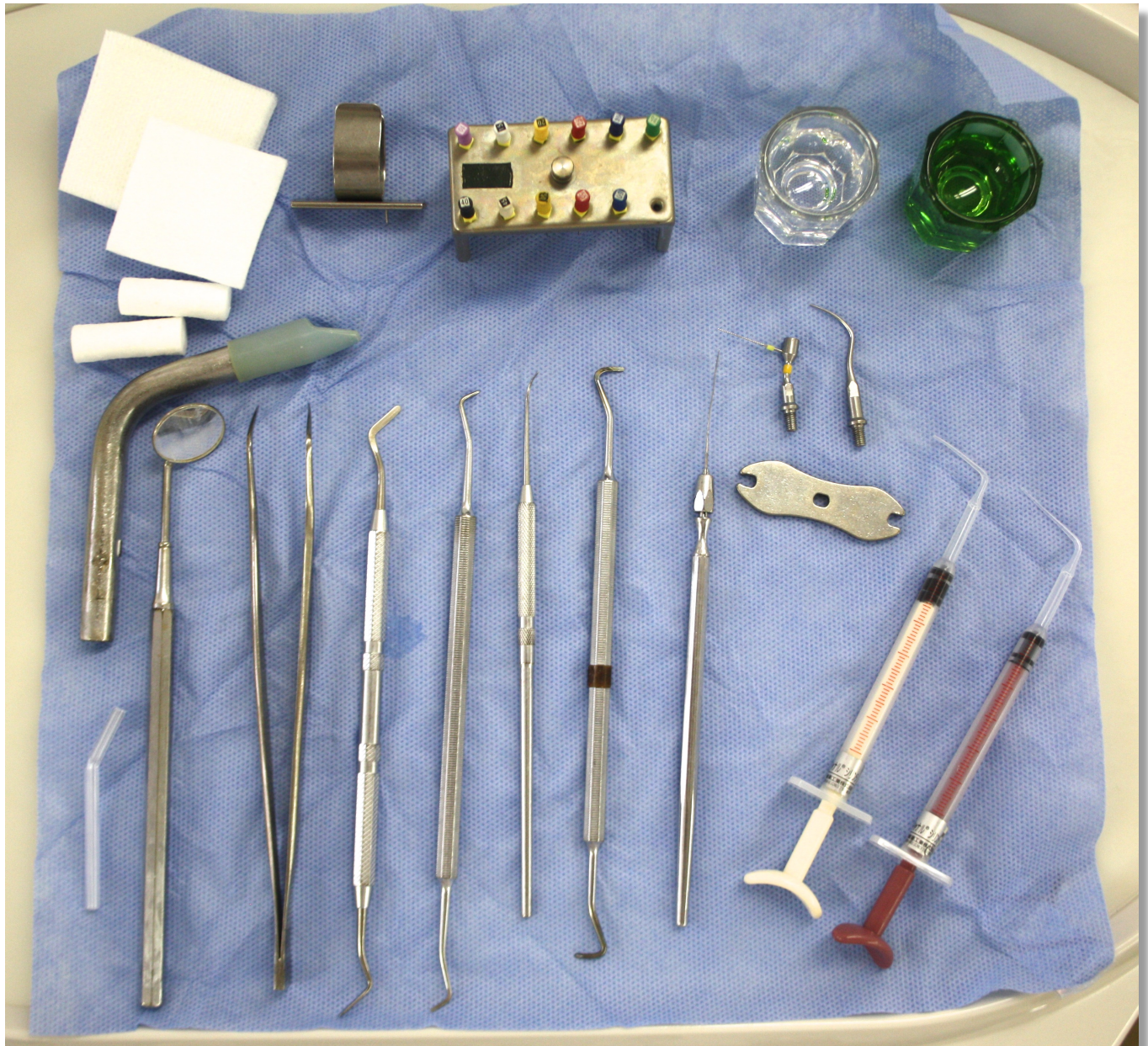


# 診療参加型臨床実習 診療マニュアル

## 歯内治療

平成31年度

## 歯内療法（基本セット）



### □ 基本セット

- ・デンタルミラー
- ・探針
- ・雑用エキスカベータ
- ・練成充填器
- ・ピンセット
- ・バキュームチップ
- ・3wayシリンジ用チップ

### □ 超音波スケーラー

- ・ハンドピース
- ・スケーラーチップ  
(セメント除去用)
- ・エンドチップ
- ・着脱器

### □ ワッテ、ロールワッテ、ガーゼ

### □ 根治セット

- ・エンドゲージ
- ・雑用エキスカベータ
- ・ブローチ
- ・ルートキャナルシリンジ×2
- ・EMR用クリップ
- ・EMR用フック

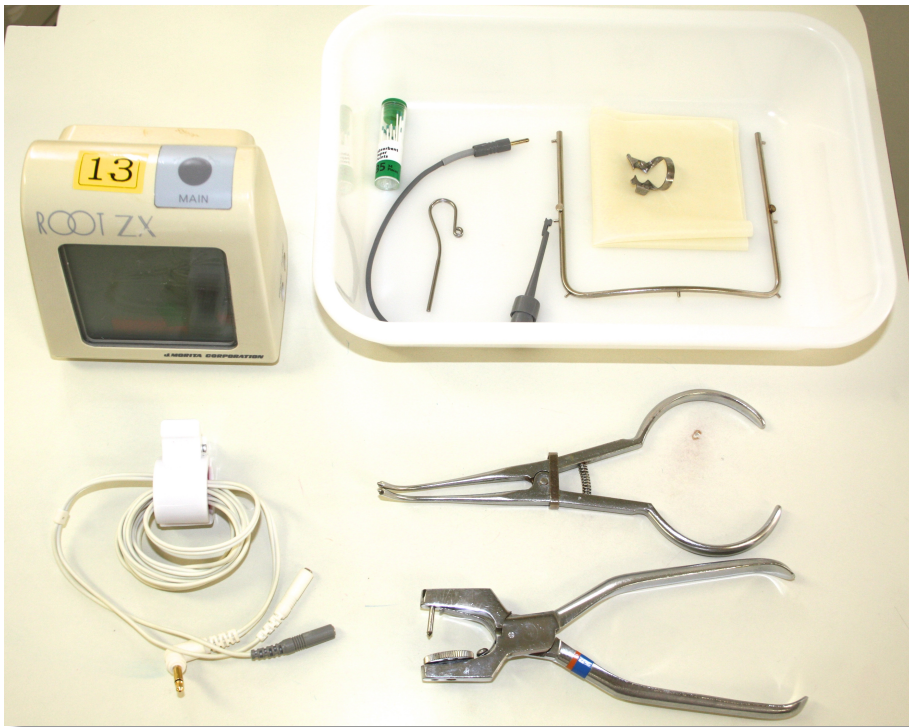
### □ ダッペングラス

- ・透明 (次亜塩素酸Na)
- ・色付き (EDTA or オキシドール)

### □ ファイル (21, 25, 28, 31mm)

- ・Kファイル
- ・リーマー
- ・Hファイル

# 歯内療法



- ラバーダムシート
- ラバーダムパンチ
- ラバーダムクランプ
- クランプフォーセップス
- ラバーダムフレーム
- 電氣的根管長測定器
- ペーパーポイント
  - ・ #35, #45, #55

## 根管消毒薬

- ・ メトコール®
- ・ クレオドン®
- ・ キャンフェニック® (CC)
- ・ ヨウ素製剤
  - JG (ヨードグリコール)
  - JGパスタ
- ・ ホルムアルデヒド製剤
  - ホルムクレゾール (FC)
  - ホルマリングアヤコール (FG)
- ・ 水酸化カルシウム製剤
  - カルシペックス®
  - ビタペックス®
  - ウルトラカル®

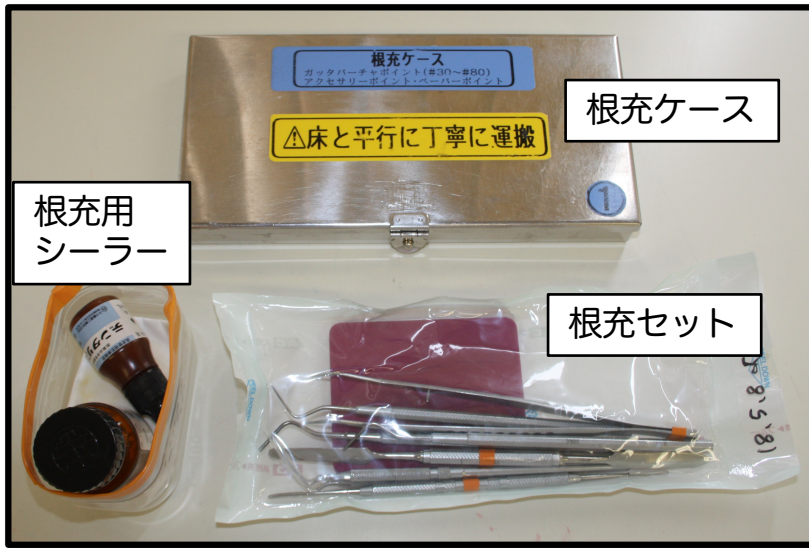


## 根管に用いる薬剤

- ・ EDTA
  - モルホニン®
  - Glyde™
  - ファイリーズ®
- ・ ガッタパーチャ溶解剤
  - GPソルベント

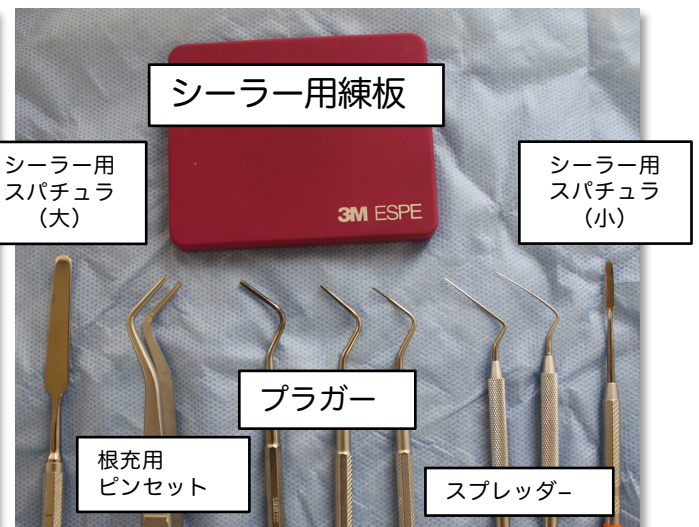
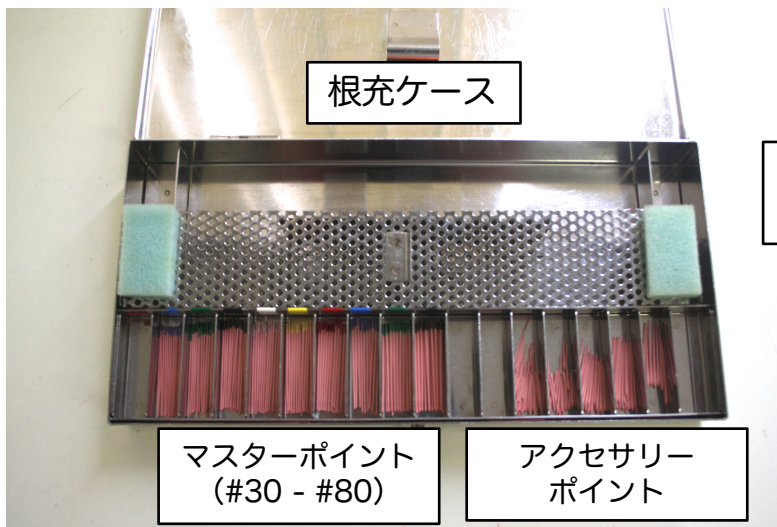


# 歯内療法



## ←根管充填で用意するもの

- 根充ケース
  - ・ガッタパーチャポイント
- 根充セット
  - ・シーラー用スパチュラ
  - ・シーラー用練板
  - ・根充用ピンセット
  - ・プラグー (大・中・小)
  - ・スプレッター (太・細)
- 根充用シーラー

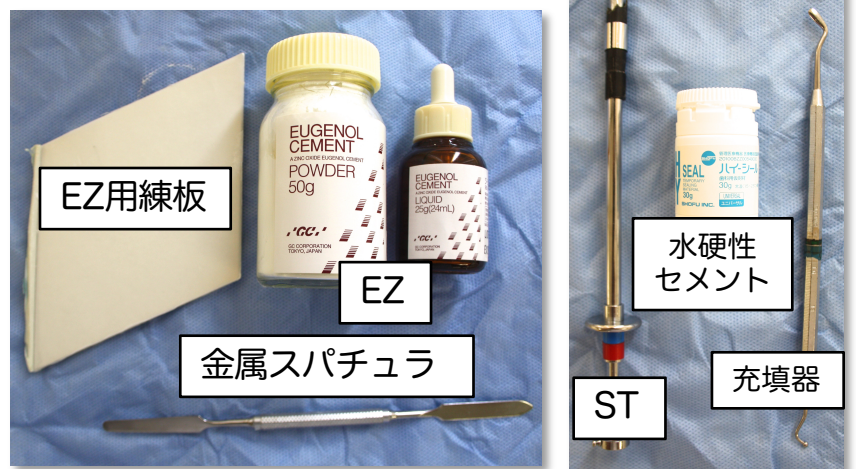


## ガッタパーチャポイントを切断する時に使用するもの

- 雑用エキスカベータ
- ガッタカット® (下図)
  - ・本体
  - ・専用チップ



## 仮封剤



- 酸化亜鉛ユージノールセメント (EZ)
- 水硬性セメント (ハイシール®)
- ストッピング (ST)

## 歯内療法

- ・外来に入室したら、マスク・ゴーグルを着用し、手洗いをを行う。
- ・必要な材料・器具を用意し、指導医に本日の治療内容を説明する。
- ・患者さんの来院が確認できたら、ユニットのメインスイッチを付けて器具準備を行う。
- ・患者さんを誘導できる環境であることを確認する。
- ・グローブを用意しユニットで待機する。グローブはポケットに入れない。
- ・待合室で患者さんを確認し挨拶したらユニットまで誘導する。
- ・問診を行ったあと患歯の状態を確認し、その結果を指導医に報告する。
- ・指導医の許可をもらったら、患者さんに今から行う治療内容を説明する。
- ・ラバーダム防湿を行い消毒（JG+アルコール、もしくはネオステリングリーン）後、仮封を除去したら、綿栓の状況などを指導医に報告し、指示があれば根管治療を再開する。
- ・指示された状態まで根管治療を行ったら指導医の指示を仰ぐ。
- ・根管貼薬剤、仮封剤を用意する。
- ・必要に応じて根管充填を行う。
- ・根管内の洗浄、乾燥を行った後、根管貼薬剤を貼付して仮封する。
- ・ラバーダム防湿を撤去し、咬合確認を行う。根管充填後であれば即時に放射線科にてエックス線写真を撮影する。
- ・次回予定を患者さんに伝え、治療終了とする。
- ・グローブをプラスチックグローブに履き替えて、ユニット周りの後片付けを行う。
- ・2号用紙を記載し、指導医に見せてフィードバックをもらい次回予約を確認する。
- ・使用器具を消毒室まで運ぶ。